

# 大平さん鳥取県の全自治体を訪問 地域の「息づかい」を感じ、国政に届ける



大平喜信前衆議院議員は10月15・16日の2日間で、鳥取県の倉吉市、三朝町、江府町、湯梨浜町を訪問。この結果、鳥取県の全自治体訪問を達成しました。その活動を、大平さんのツイッターから紹介します。(要約)この訪問には岡田まさかず衆員1区予定候補らが同行しています。

## <三朝町・中部地震、その上にコロナ被害>

赤坂英樹副町長と懇談(写真)。三朝温泉と投入堂で有名な三徳山の2つの日本遺産を持つ三朝町はいうまでもなく観光業が町の基幹産業。

4年前には鳥取中部地震で町内2600戸のうち1500戸が被害にあい、さらに今度のコロナ被害で温泉街が大打撃。「支援の継続、とくに今年度が節目となる過疎対策事業の継続をぜひやってほしい」との要望が寄せられた。

## <江府町・移住者が少しずつ増えている>

白石祐治町長と懇談(写真)。人口2800人の小さな町だが、奥大山の自然豊かな暮らしを求めて都会から移住してくる人が少しずつ増えているとのこと。

新たな住宅建設も進めているとのことのお話だった。一人10万円の定額給付金も町職員が出向くことも含めて実質100%全員に届けることができたとのこと。小さな町だからこそ一人ひとりに行き届いた行政サービスが行える。マイナンバーカードの乱暴な普及などよりも何倍も安心して確実に迅速。



## <倉吉市・米子市・農業と中小企業が地域の主役>

倉吉市では商工会議所の佐々木専務と懇談。米子市ではJAとっとり西部の植田専務と懇談。「中山間地は農業と中小企業が地域の主役であり主力」「みんな自分ですでに懸命にがんばっている。首相に言われるまでもない。地方でがんばる人たちに届くだけの公助の充実こそ国政の何よりの責任」などの声が出されました。



## <湯梨浜町・町名は温泉・農業、漁港・町の誇りを3つ並べたもの>

増井くみ・竹中としたけ両町議とともに旧町村ごとに4カ所で街頭からごあいさつ。2人の議員が日頃からよく歩いておられるようで次々と知り合いの方が声をかけてこられ立ち止まって私のうったえも最後まで聞いてくださった。